

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名【新】県立特別支援学校校務支援システム運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

特別支援教育課 特別支援教育企画係 電話番号：058-272-1111(内8686)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 60,170 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	60,170	0	0	0	0	0	0	0	60,170
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 令和6年度導入予定の校務支援システムの導入準備を行う。

(2) 事業内容

- システムの岐阜県仕様の構築と、運用前の動作確認等の準備
※令和5年4月～令和6年3月

(3) 県負担・補助率の考え方

- 県10/10

(4) 類似事業の有無

- 県立高等学校における校務支援管理システムの導入

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	60,170	校務支援システムシステム設計・構築作業費用、ヘルプデスク運用費、ソフトウェア利用料・保守料
合計	60,170	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 全県立特別支援学校に統一的に運用できる校務支援システムを、R6年度全特別支援学校にて運用できるように、R5年度にシステムの導入、構築作業、モデル校での運用を実施し、教員の事務作業の効率化及び防災、情報漏洩防止の対策を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①	/	/	/	/	/	/
②	/	/	/	/	/	/

○指標を設定することができない場合の理由

本事業で導入するシステムは教員の事務作業の効率化及び防災、情報漏洩防止の対策を図るものであり、特定の指標を設定し、達成度を測ることにそぐわないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	・事業に関する他県調査
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県立特別支援学校に統一的に運用できる校務支援システムを導入することで、教員の事務作業の効率化及び防災、情報漏洩防止の対策を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県立特別支援学校に統一的に運用できる校務支援システムを導入することで、教員の事務作業の効率化及び防災、情報漏洩防止の対策につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県立特別支援学校に統一的に運用できる校務支援システムを導入することで、教員の事務作業の効率化及び防災につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ システム構築の計画。 ・ 校務支援システムの安定した計画的な運用。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ 事務の効率化及び防災、情報漏洩防止を図るため、全県立特別支援学校に統一した校務支援システムを運用し、その保守作業を行う。 ・ 次期システム導入スケジュール 令和5年度：次期システム契約、導入準備 令和6年度～11年度：校務支援システム稼働

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--